

秋の火災予防運動実施！

【10月15日(木)～31日(土)】



消防署より

■お問い合わせ

下川消防署 ☎4-2119

暖房器具の使用機会が増え、火災が発生しやすい季節となります。暖房の周りに本や洗濯物など燃えやすいものはありますか？火の取り扱いに注意して火災を未然に防ぎましょう！

また、火災に遭遇したら冷静に対応できるようシミュレーションしてみましょう！

8月末現在

救急出動件数 84件

火災件数 0件

万が一火災に遭遇したら…

1 知らせる

「火事だ」と大声を出し、周囲にいる人に知らせ消防署に119番通報してください。

2 消火する

火が小さければ消火器などで初期消火をしてください。

消火器1本で消せる火の規模は、高さが自分の身長以下、広さが約2畳分と言われています。

3 逃げる

火の勢いが強い時は無理に消火せず、すぐに避難してください。

2026年度全国統一防火標語が決まりました！



2026年度全国統一防火標語

火の確認 いい日を支える いい習慣



灯油かんは安全に使用しましょう

灯油は危険物に指定されており、取扱方法を間違えると事故につながります。灯油かん（ポリタンク）でしっかり保管し、灯油を正しく安全に使いましょう。

1 灯油かんについて

- ・「推奨ラベル」が貼られたものを使用しましょう。
- ・灯油以外の燃料を絶対に入れないでください。
※揮発性が高いガソリンや軽油を入れると、灯油かんが破損します。ガソリンや軽油を保管する際は、必ず指定された容器を使用してください。
- ・暖房器具等に給油するときは、火を消しましょう。また、給油ポンプを使用し、こぼさないよう注意しましょう。

2 保管に関する注意点

- ・2個以上保管する場合は、積み重ねないでください。
- ・直射日光等を避けて保管しましょう。
- ・保管量を把握しましょう。※数量によって、火災予防条例で規制があります。
- ・火気に近づけないでください。
- ・密閉して保管しましょう。

